

西栗倉幼稚園

だより

家族ふれあい参観日

お餅つきと干し柿作りを行いました。

お餅つき、初めて杵を持つてお餅をついた子どももいました。そう組は二人で力を合わせて「べったんこ。それ、べったんこ」と息の合ったところをみせてくれました。



全員そろって会食を行いました。ぜんざいや雑煮にしておいしく頂きました。園児を含めて百人の楽しい会食です。



手を真っ白にして、ころもちもみ、をして、暖かくて柔らかくて気持ちよかったね。



西条柿で干し柿作り、保護者の方にへたの棒をとってもらいむきやすくしてもらってからピーラでむきました。はじめの一つはなかなかむけなくて大変でしたが、2、3個目になると上手に作業ができるようになりました。さすがそう組ですね。



園庭で焼き芋大会

5月の連休明けに差し苗、毎日水やりをして大きく育ちました。いも料理をして食べたり焼きいもにして食べたり炭火を作り園庭で集めた落ち葉をたいて、「ほくほく」「ほかほか」のいい焼いもができました。「おいしいね。」



おいしい~!

大原高校だより 高校女子駅伝初出場

11月3日(木)。午前11時10分、晴れ渡った井原市の陸上競技場にスタートの号砲。一斉に18名の第一走者が6kmの長丁場に挑む。国体優勝の新谷選手(興譲館高校)の走りはあっという間に他を引き離す。大原高校の第一走者居安麻衣さんも遅れじと後を追う。2km地点で校長と私と数名の教員で応援。地元の人々からも「大原高校がんばれ」の温かい応援。居安さんは10位くらいで4人の集団で通過。苦しうに顔を歪めていたが、がんばろうという決意が眼差しに溢れていた。区間13位の力走、エースの意地をみせた。

2区(約4km)は、もう一人のエース福島舞さん。彼女は前日の入試のため試走ができずコースに不安を抱えての出走。案の定、コースを間違えたと思ひスピードを落としたところで追いつかれる苦しい展開となる。それでも、落合高校に少し遅れ、津山高校とほぼ同時に3区へつなぐ。

3区(3km)は、粘りが持ち味の後藤直美さん。冬の筋力トレーニングを黙々一人で続けてきたガンバリ屋。津山高校には離されるも、落合高校に追いつき4区へ襷リレー。

4区(3km)は、岩崎由香さん。腹痛に苦しみながら、落合高校に少し遅れる程度で追走。

5区アンカーは小淵由衣さん。5kmと2番目に長い距離。少し前を走っていた

走者もまもなく見えなくなり、ほとんど1人旅。後続も見えないほど離れていた。苦しうに最後の坂を登り切り競技場に帰って来た。ゴール前のラストスパート。懸命の力走。ゴールには、大原高校女子生徒全員の出迎え。涙のゴールイン。アンカー小淵さんも他の生徒も大粒の涙。私たちも込み上げるものを感じた。16位での完走。走り遂げた充実感を皆は味わっていた。

選手5名、サポーター4名の全女子生徒。校長をはじめ12名の教職員の支援。保護者応援団6名。大原高校閉校の年に、みんなの気持ちを襷にのせてつなごうという試みは大成功。合い言葉は、「絆~Ohara high school FOREVER in our heart」。

(副校長 上原正之 11月22日記)

